

新潟県 公民館月報

KOMINKAN GEPPU

12

December 2016
No.766



重要文化財 護徳寺観音堂の修理現場見学(阿賀町)

技術者の知識と職人の技に触れ、地域の魅力を再発見しました。

4~5

特集

第1回座談会「公民館の明るい未来～公民館活性化への提言～」

CONTENTS

- 2………… トピックス 「深めよう絆 県民の集い」 「新潟県ふるさとづくり大会 in 村上市」
- 3………… 視 点 「日本初の公民館は小千谷市」 事務局長 田原 理
ひ ろ ば 「出会い」 十日町市公運審委員 村山 正夫
掲 示 板 「社団懇事務局長会」 「関プロ第3回理事会」開催予定
- 6………… 実践記録シリーズ 「生き生き通学合宿」 五泉市生涯学習課
- 7………… サークル交流 「地域に根付く活動を目指して」 (弥彦村) / 「ピンポンで健康維持」 (胎内市)
素 顔 拝 見 大塚 和子さん(魚沼市) / 佐藤 綾花さん(阿賀野市)
- 8………… お元気ですか あんぜんとしてひびあきらか
ネットワーク 「闇然而日章」 五泉市・中川 陽一さん

TOPICS

「深めよう絆 県民の集い」「新潟県ふるさとづくり大会in村上市」

県公民館連合会が後援や構成団体になっている2団体の大会がありました。

○深めよう絆 県民の集い

いじめ防止に関する県民運動を始めて10年の節目を迎え、「いじめ見逃しゼロ」私たちにできること「」をテーマに考え、集いで得たことをさらに広げていくことを目的に開催されました。

日時：平成28年11月5日(土)

13:30～16:00

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館コン

サートホール

参加者概数：1500名

研修テーマ「いじめ見逃しゼロ」

「わがわたしたちにできること」

学校や企業等の取組発表やリレートーク、参加者による「いじめ見逃しゼロ宣言」等をおして、県民みんなで「いじめ見逃しゼロ」の意識を共有する気運を高めていきます。

第1部 実践発表 私たちに



柏崎市、刈羽郡の生徒たち



発表する神納中学校生徒

できること ネットいじめ防止の取組
(1) 村上市立神納中学校生徒会



柏崎市、刈羽郡の発表

(3) りんご笑顔プロジェクト

「考えてみよう SNSやスマホとの付き合い方」

第2部 リレートーク 中学校2校 高校2校 PTA

報道 会社等の代表

伊勢みずほ(フリーアナ)

第3部 いじめ見逃しゼロ宣言

合唱 県立中央高校コーラ

ス部

○新潟県ふるさとづくり大会

in 村上市

市民協働のまちづくりで元気な地域づくりをテーマに下記のとおり大会が開催されました。

日時 平成28年11月13日(日)

会場 村上市総合文化会館

参加者数 252名

1 自治活動表彰式 6団体

2 基調講演

講師 島根県雲南市職員

板持 周治氏

演題「小規模な多機能自治による住民主体のまちづくり」

ちづくり」



小気味よい講演 板持氏

3 取組発表会

「あらかわスイーツプロジェクト」「名水を生かしたまちづくり」「花一輪挿し運動」「三重大運動会&交流会」「中継桜まつり」

コーディネーター

齋藤 主税氏

「新潟県公民館月報」 毎月15日発行
いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部160円 年間1,920円(いずれも送料含む)

申込先 〒950-2004 新潟市西区平島1301番地 中野プラザ107 新潟県公民館連合会 TEL・FAX025-266-7711



ひろば

視点

「出会い」

十日町市公運審委員
村山 正夫



平成13年、当時の川治地区公民館館長梶沢英男さんより14年度からの太極拳教室に参加しませんかと誘いを頂きました。小千谷市の宮崎先生から10年以上指導を頂き、お陰様で指導員の資格を得る事ができ、公民館、分館の教室依頼を受け各地域の方々と交流を深めることができ

ています。中条公民館では、「山菜取りでも転ばなくなつた」という声や、凍った冬道で転倒、お医者様から「骨折してませんか」「太極拳を習ってますか」「それはよかった」と誉められたという声を耳にしました。自分では気が付かないが長くやっている

体に良いのがわかってくるので有り難いです。太極拳で各地域の人と出会い、公民館とのパイプ役として少しでもお役に立てれば幸いです。機会を与えていただいた、公民館、参加している皆様に感謝です。



事務局長
田原 理

日本初の公民館は小千谷市

終戦後、文部省はいち早く、新しい教育方針を示しました。その中に社会教育の発展と強化策も盛り込まれていました。昭和21年には公民館の設置に関する文部次官通牒（*寺中作雄構想といわれるもの）があり、全国市町村に公民館の設置奨励がなされました。

これは、戦災による混乱を收拾し、荒廃の日本を再興する方策として公民館を全市町村に設置することを国の重要施策としたものと言えます。

新潟県では全国に先駆けて小千

谷市に公民館が設置されました。それは文部次官通牒が出た直後の設置でしたが、小千谷市では戦前から青年団活動が盛んで終戦直後の昭和20年からこれらの青年が中心となって公民館運動をしていました。もちろんこれは全国でも最初の活動でした。福岡県が全国最初の公民館だという指摘もありましたが、戦前の活動や終戦直後の公民館運動の経緯を踏まえると小千谷市が全国初の公民館であることは明白でしょう。なお、寺中作雄氏はこの頃、文部省幹部として小千谷市公民館を視察訪問しています。

戦後日本の民主化でしたが、その手段として公民館活動が最適で重要だという認識がありました。当時の軍政部は県主催の公民館長大会や社会教育大会に、挨拶や講話などに軍人（ライト中尉など）を派遣していることから重要施策としていたことがわかります。昭和24年には軍政部が「最初の公民館設置以来、県内市町村の設置率が向上していない」と指摘しました。県社会教育課は軍政部長賞を出すなど奨励策をとるなどして（第1回軍政部長賞は佐渡郡）またたくまに設置率100%を達成しました。軍政部はその成果と共にその年の11月には仙台に引き揚げていきました。

「社団懇事務局長会」「関プロ第3回理事会」開催予定



昨年の事務局長会議

- 社会教育団体懇話会（社団懇）事務局長会の開催
社団懇（会長：早川寿男 県公運会長）の事務局長会では構成10団体が今年度の活動総括を行い、来年度の事業予定を発表します。
期日：平成29年2月2日（木）
午前10時～12時
会場：県生涯学習推進センター

- 関プロ第3回理事会の開催
次期開催地の前橋市で理事会が開催されます。理事の早川会長と田原事務局長が出席の予定です。
期日：平成29年2月3日（金）
午後1時30分～
会場：前橋市中央公民館
視察：大会会場2カ所

特集

第1回座談会「公民館の明るい未来へ公民館活性化への提言」

好評の座談会も3年目を迎えました。3回目の今年
は、第1回が新潟市のベテラン3名で、2回目は上、中、
下越から若者を中心に3名で構成しました。

1回目の座談会が11月11日(金)に新潟市中央公民館
で行われ、活発な意見交換が行われましたので今号で
紹介します。なお、2回目は12月16日(金)に行い1月
号に掲載する予定です。

テーマはどちらも「公民館の明るい未来へ公民館活
動への提言」で、1回目の今回は、主に新潟市で活動
を行っている市民・一般の方々3人をメンバーにして
意見交換を行いました。

〈第1回座談会メンバー〉

佐藤 主計さん
(新潟市北区)

田村千恵子さん
(新潟市中央区)

河合 正士さん
(新潟市西蒲区)

司会 田原 理
(原公連事務局長)

記録 鴨井 理紗
(新潟市公民館職員)

島津 和子
(原公連事務局員)

（田原） 本日はお忙しいところ座談会にお出でいた
きありがとうございます。ご出席いただいた3
人の方々、それぞれ、現在、新潟市を中心に公



活発な意見交換：左から 田原、河合、田村、佐藤

民館活動等を実践されている方々です。

今日は、公民館の活動が地域づくりや人づく
りにどのように生かされているか、また、これか
らの公民館がどうなっていて欲しいかなどを、市民
目線で意見交換をお願いしたいと思います。

（佐藤） 北区の佐藤で
す。旧豊栄市職員
で公民館職員経
験があります。現
在81歳ですが、北
区の公民館協力
員を6年間やつ
ています。

（田村） 中央区の田村
です。旧中央公
民館があった西
堀の裏手に住ん
でいます。当時、
公民館から音楽
サークルの歌声
が聞こえてきて
楽しそうで公民
館に顔を出すよ
うになりました。

活動協力員や公
民館運営審議会
委員をやりまし
たが、現在は、親
子遊びの指導や



佐藤さん



田村さん

学区中学校の地域教育コーディネーターをやっ
ています。サークル活動では「インディアアカ」を
20年やっています。

（河合） 旧巻町在住で
す。68歳です。地
元の信金に勤め
ていました。郷
土をもっと知り
楽しく生きよう
と退職後に公民
館主催の「ガイド
養成講座」に参加
し地域活動が素
晴らしいことを
学びました。以
来、巻のまちなかガイドや西蒲区の観光ポラン
ティアガイドの経験があります。今は北国街道
ガイドの会をつくり活動しています。活気があ
りますよ。



河合さん

（田原） 皆さん、素晴らしい実践的な活動をされてい
ますね。

現在、公民館の活動や予算とも右肩下がりで
元気がないといわれていますが、市民に喜んで
もらう公民館活動を展開するには何をすればよ
いでしょうか。現状をみての考えや活動活性化の
アイデアはありますか。

（佐藤） 公民館長さんは、以前は正職員でしたが、今
は、再任用職員の方も多く在職1〜2年で異動
してしまいます。この状態は館長としての責任

感が以前と違う気がします。社会教育の基本を理解していない人もいるのが現状です。社会教育としての方向を決めて実践していく活動が何よりも求められているのではないのでしょうか。予算がない、館長はすぐ代わるでは良い活動ができないと思います。

(田原) なるほど、鋭い指摘ですね。田村さん、公民館活動の現状についてご意見がありますか。

(田村) 市報などでいろいろな教室催しが広報されていてその数も多くバラエティーに富んでいると思います。学習の入り口はたくさんあって市民ニーズに当たっていると思います。私は「親子遊び」の教室にかかわった活動をしています。最初のきっかけは公民館の「養成講座」でした。また、最近、子育て支援センター、保育園の一時預かり、公民館講座中の保育などに恵まれていて昔に比べるととても充実しています。

(田原) 新潟市は通勤族が多く、地域のことを知るために公民館講座に参加しているという事例がありました。仲間づくりや地域の情報を得るための役割も大きいと思いますがどうですか。

(河合) 公民館職員が異動で巻に来た時、区から依頼されてまちのことをアドバイスしています。学校関係者や観光コンベンションなども連携して情報提供をしています。自分の楽しみだけではなく、地域経済の発展のためにも温泉に入るとおいしいものを食べるなどを紹介して地域とのつながりを大事にしています。

(佐藤) 北区では人口減少、特に若者が少なくなっていて、自然現象でやむを得ないとは思いますが、少ない中で住民が求める学習を提供して行く必要があると思います。年代別に課題を変えて活動の呼びかけをしたらどうでしょうか。その呼びかけを誰がやるかという公民館でしよう。公民館では、チームを組んで、館長と2〜3人のチームでやると突っ込んだ仕事ができると思

います。

年代別の活動を続ければ、そこに活動組織ができます。それは情報交換の場にもなり地域づくりにつながります。公民館とこの組織が一体になれば良い仕事ができます。継続の秘訣はこれらの活動をやってみて「なんとなくよかつた」という気持ちが大切だと思います。この連続が地域おこしにつながるのではないのでしょうか。

(田村) 市民目線がいいですね、既存の学習プログラムではなく、私がスポーツを長く続けていて思うのですが、公民館対抗スポーツ大会などはどうでしょうか。

(田原) いいですね。行政は前例がないことはやらない傾向がありますが公民館は新しいものをどんどん取り入れることができる場所ですからね。スポーツだけではなくゲームやワイズの対抗戦なども面白いですね。

(佐藤) 「合併して本当に良かったのか」をテーマに各地区公民館が集まり議論するのも面白いのでは。ありませんか。現状では、市の中心部と周辺部ではかなり意識に差があるのではないかと思います。

(河合) 合併の議論のアイディアは面白いと思います。私は合併についてはもっと前向きになつたらよいのではないかと思います。市中心部との差についてはおいておいて、もっと地域づくり、まちづくりに前向きになつたらよいと思います。自分たちのまちが好きを人を増やし、周りにある宝物を大事にする活動をしたらよいと思います。図書館の目的は明確です。本を読み、探しに行くところですね。公民館はどうでしょうか。市民にはいまひとつわかりにくい。公民館はまちづくりや人づくりの拠点になつてほしいと思います。これからは、「まちづくり」は市民の活動すべてのキーワードです。

(田原) そうですね。人が人を育てていくのですから、

そしてそれが地域づくりにつながるといことですね。そのためにも仲間づくりの継続は大切な視点ですね。

(佐藤) 公民館はただの行政ではなく特別な存在です。館長や職員は地域を知っている人でないためでしょう。地域の人の登用や地域を理解する努力が求められていると思います。

(河合) そうですね。職員にもいろいろな人がいます。が、地域を知りたがる前向きな人がいいですね。

(田村) 学校では、地域との結びつきを重視するようになりまし。新潟市はすべての学校に地域教育コーディネーターを配置していますが、子供の学びの場には必ず地域の人の協力が必要です。防災教育などは地域の人の協力がないとうまくいきません。私はそのつなぐお手伝いをしていきますが、最近、公民館とも連携していく大切さを考えるようになりまし。

(田原) 今、文部科学省では公民館活動の最大目標を「地域づくり」「人づくり」にしています。また、学校との連携が欠かせないとしています。新潟市の公民館ではこれらの視点で、住民が喜んで参加する事業・取り組みを模索しているところですが、どうぞ、皆様には地域の活動のリーダーとしてこれから公民館への応援をよろしくお願いたします。本日は、大変貴重なご意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。



記録 鴨井 理紗さん(新潟市中央公民館)

実践記録シリーズ

225

「生き生き通学合宿」

五泉市生涯学習課

五泉市生涯学習課で実践している「生き生き通学合宿」について報告します。

1 「合宿の目的」

子どもたちが親元から離れ、異年齢での共同生活をしながら通学することにより、家族の大切さを認識するとともに、子ども同士の間、家族の間、コミュニケーションの中から人間関係を深め、「生きる力」を身につけることを目的としています。

2 「合宿の概要」

五泉市の所有する研修施設「チャレンジランド杉川」に管内の小学5～6年生40名を集めた5泊6日の合宿です。

合宿では山登りとか、川遊びをするわけではなく、普段の生活を子どもたち同士で助け合っ

一日の流れ

6:00	起床・洗面・清掃
6:30	朝食
7:00	登校
16:00	下校
17:00	夕食準備
18:00	夕食～後始末
19:00	学習
20:00	入浴
22:00	ミーティング
22:10	就寝

6:00

起床・洗面・清掃

子どもたちが自主的にやっています。散らかっている部屋を注意することはありますが、清掃は子どもたちに行ってもらいます。



朝、これから学校へ行くところ

6:30 朝食

朝食は職員が準備しています。

7:00 登校

チャレンジランド杉川は山奥にありますから2台の市バスを利用して参加児童の7校を周り、子どもたちを届けます。

16:00 下校

下校時間は日によって時間が替わりますので、配車に苦労しています。

17:00 夕食準備

当番の子どもたちが担当の手助けを受けながら調理します。

19:00 学習

宿題、予習復習をやっています。

20:00 入浴

部屋ごとに毎日順番を変えて入浴をしています。入浴時間は15分です。

待機中の子ども

夜の散歩に出かけます。今どきの子は真っ暗闇は未体験らしく大盛り上がりです。

22:00 ミーティング

子どもたちから合宿中の嬉しかったこと、困っていることなど職員に伝える

など職員に伝える



夜の散歩肝試しへ出発



学習時間ちゃんと勉強しています



夕食の調理中

たいことを毎日ミーティングカードに記入してもらい、担当する職員の情報共有に活用しています。他には翌日の予定確認としてプール事業の有無、下校時のバス時間などを確認しています。

22:10 就寝

子どもたちはいつもと違う環境のため、なかなか寝付けない子がいて、明け方まで起きていたなんて話も聞いています。そうすると当然のごとく学校の授業中に居眠りをしてしまい学校から苦情をいただいたこともあります。

事業終了後

子どもたちの感想文、活動の様子の写真をまとめた冊子を配布しています。

3 事業の成果

子どもたちにとっては、保護者の元を離れて生活するという一生忘れられない貴重な体験となります。合宿後の感想文には「他の学校の友達ができたら」「親の大変さが理解でき、これからは食事の手伝いをしようと思った」などお互いの立場や役割を理解して協調性を身につけることができました。

4 担当者の感想

担当者である大人がどこまで関わってあげられるのか。合宿中には「ケンカ」「家に帰りたいホームシック」「友だちができない」をなんとかしたいという子どもたち自身の想いがミーティングカードに書かれています。

大人のアドバイザーなんか役に立ちません。日を追うごとに「毎日楽しい」「友だちでできた」と変化していくのを見守ってあげたいのかなと思います。昨年、毎日ホームシックで泣いていた子が今年も参加してくれている。担当者としてうれし泣きです。

担当者としてうれし泣きです。

担当者としてうれし泣きです。

担当者としてうれし泣きです。

担当者としてうれし泣きです。

担当者としてうれし泣きです。

担当者としてうれし泣きです。

担当者としてうれし泣きです。



地域に根付く
活動を目指して

弥彦民謡協会

弥彦民謡協会は会の発足から45年となりました。弥彦総合文化会館・弥彦村公民館との複合施設を主な活動の場とし、日々練習に励んでおります。活動内容としては、民謡舞踊や和太鼓の芸の習得・上達はもとより、現在では子ども達の育成や老人の健康促進なども目的としており、活動の幅も多岐に渡っています。

弥彦民謡協会の活動の発表の場としては、村のお祭りなど観光行事への参加や弥彦村文化協会が主催する文化芸能祭への出演、また、私どもが主催する秋の民謡まつり開催など、様々ながあります。



そんな私たちが目指しているものは、「地域に根付く活動」であります。

今後も地域の行事等に積極的に協力し、会の発展とともに弥彦村の発展に寄与していけたらと考えております。

弥彦村・弥彦民謡協会

兼坂 友幸 記

ピンポンで健康維持

築地友遊クラブ

平成18年から続けて11年間、週2回月曜日と木曜日の午後から築地農村環境改善センターで活動しています。

クラブの仲間は21人おりますが他の行事等が重なるため、常に集まる人が10人前後です。



胎内市・築地友遊クラブ
西村 宜雄 記

ラジオ体操で準備運動をし、出来るだけ全員と対戦できるように打ち合いを楽しんでいます。

互いに球を打ち合うだけの競技ですが、汗が流れ出るほどの運動になるので20分毎に10分程度の休憩をとり水分を補給し冗談話に花を咲かせ、心もリフレッシュし体力不足を補い健康維持・増進にと活動しているクラブです。

その他、春には総会後に懇親会、夏には納涼祭、暮れには忘年会を年中行事として行いクラブ会員同士の親睦をはかりながら活動を続けています。

魚沼市中央公民館 (魚沼市教育委員会生涯学習課)
館長 大塚 和子さん



魚沼市初の女性中央公民館長として就任され、6人の地区公民館長をまとめ、生涯学習振興に奮闘されています。どなたを相手にされても朗らかで、笑顔を絶やさず、優しく応対し、元気いっぱい。そして話し方は物腰が柔らかで、気品に満ちた言葉遣いをされ、大変丁寧です。まさに明朗快活と大和撫子が同居した館長と言えるのではないのでしょうか。

そんな大塚館長は、中央公民館長としてだけでなく、堀之内公民館長も兼務し、地区公民館事業にも一生懸命取り組まれています。

「夢には大きいも小さいもない・どの年齢でも夢を見つけることができる」として開催した「夢発見講座」では、老若男女問わず参加者があり、交流を楽しみながら、夢を見つけるという講座のお手伝いをしました。

中央そして堀之内公民館長としてマクロとミクロの視点を持って、慎重に思考を巡らせつつも、今日も明朗快活・丁寧・親切に来館者対応をする大塚館長です。

(公民館主事 坂牧 賢吾 記)

阿賀野市民生部生涯学習課笹神公民館
主事 佐藤 綾花さん



笹神公民館の佐藤綾花さんを紹介します。佐藤さんは平成28年4月に阿賀野市に採用され最初の職場が笹神公民館です。社会教育に携わりたいという希望が叶った配属とのことでしたが、思った以上に外作業や外での事業がありイメージと違ったそうです。佐藤さんは英語・ドイツ語、書道、ギター演奏などの特技を持ち、才色兼備の女性です。特技を事業の中で生かし、新しい風を吹き込んでくれています。社会教育系の事業である小学校高学年の子どもたちを対象とした「やまびこキャンプ」では就寝前に絵本の読み聞かせを英語と日本語で行い、子どもたちの英語への関心を高めていました。夏は苦手な水の中に入る五頭連峰少年自然の家の沢登りや嫌いな虫(カメムシ)退治にもチャレンジ。できないとあきらめず、チャレンジしていく佐藤さんの姿に元気をもらっています。

持前の明るさと笑顔で笹神地区公民館の担当として業務にあたり、底なしの吸収力でどんどん学んでいる佐藤さんのこれからの活躍がとても楽しみです。

(生涯学習課 社会教育係 渡邊 寿恵 記)

素顔拝見

ネットワーク

第2回中越公連代議員会
第2回下越公連代議員会開催される

各地区の主な研修会が終了して、その総括と来年度の活動準備のための代議員会がそれぞれ開催されました。

○第2回中越地区公民館連絡協議会代議員会
期日：平成28年11月10日
(木)午前10時15分
会場：長岡市リックホール

- 1 協議事項
- 2 事業報告会計中間報告
- 3 大会主管市町村予定
- 4 来年度研修事業予定

○第2回下越地区公民館連絡協議会代議員会
期日：平成28年11月10日
(木)午後1時15分
会場：県立生涯学習推進センター

- 1 報告事項
- 2 研修会について
- 3 協議事項



代議員会であいさつ 伊比宗宏下越社会教育課長

- (1) 来年度関係役員研修会
- (2) 職員研修会
- 3 県公連情報 田原事務局長
- 4 各市町村情報交換

お元気がすか

「あんなにすかひあるが
「闇然而日章」

中川 陽一
(五泉市)



平成6年3月定年退職した。これからは家にある古文書を読み、川東地区の水争いや悪風との戦いの歩みを知りたいと思い、川東公民館古文書の会に入れてもらった。年4回の例会には必ず出席し読み方を学んだ。

当時、県立図書館でも初級講座を年2回、4日間開催していた。こちらの講座も受講

した。さまざま古文書に触れられるので今も受講している。

この講座の受講生はシニア層が圧倒的。座席は前列からふさがっていく。目や耳の衰えだけでなく意欲のあらわれと思う。

※「お元気ですか」は現役をリタイアした方がその後も元気に活動している様子を紹介するコーナーです。

在年7回の例会は読みと会員同士の意見交換を中心に運営している。読み方、ことばの意味などの疑問は図書館に赴き指導を受け急場を凌いでいる。

私は囲碁も大好き。地元の囲碁の会にも入っている。1年程前友人から「闇然而日章」と書かれた扇子を1本もらった。暗闇の中にあつても小さな努力を続けていけばやがて光が射してくる、という意味とのこと。光を求めてこれからも精進努力する。

未来に残そう美しい山村

山村地域は、食料の生産、水源のかん養、国土の保全、空気の浄化、心のやすらぎの提供など様々な役割を果たし、国民の生命と生活・財産を守っています。

全国山村振興連盟新潟県支部
支部長(糸魚川市長) 米田 徹
新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

事務局長のつぶやき

ある日の午後の電車内。途中から乗ってきた女子高校生5人のやかましいこと。座席は空いていても座らず、ドア付近で大声の会話、高笑い。他の乗客はその人目をはばからない態度に皆あきれ顔でした。

東京では「化粧はみつともない」と電車内での化粧を咎める広告が話題

になっているようですが、この高校生たちも都会に出たら人目などはばからず化粧をするのでしょうか。恥を知れと昔から行動をたしなめるときに言っていますが、現代でははや死語なんですよ。それにしても変顔にもかまわず一心に化粧をする人を見ると、もはや不快感を通り越して哀れを感じます。(田原)